



消化器外科医 1年目を振り返って

萩原 悠介 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科 医員
2016年3月 弘前大学卒
外科専門医研修プログラム 2018年度開始



弘前大学医学部附属病院での初期研修を終え、後期研修医として消化器外科学講座を選択しました。医師3年目で勤務した青森市民病院は手術件数が多く、若手外科医として恵まれた環境でした。一方、現実には厳しいもので、回診時のガーゼ交換もろくにできず、外科医として必要とされる能力が多分に不足していることに気がきました。必死に勉強して、技術修得に注力しました。しかし、患者との良好な信頼関係を築くことができず、日々悩み、多くの挫折を感じていました。そのような辛い中でも上司は毎日のように助け舟を出してくれました。「技術は後からでもついてくる。それよりも少しでも多く病室に出向き、患者を診なさい。患者に誠実でいなさい」。アドバイス通り、患者と正面から向き合うことで自然と治療が上手くいくようになりました。チームで手術・治療を行う消化器外科は、先輩を教育する文化が根付いています。「本気でぶつかれば本気で返してくれる」。少し暑苦しい言い方かもしれませんが、それが当科の魅力だと思います。興味を持って頂いた方はぜひ気軽に当科へお話を聞きに来てください。お待ちしております。



術中写真